

カラヤヘッシブ・クリアータイプ Karayahesive

優れた透明性により
創の経過観察を容易にする



ハイドロコロイド創傷被覆材 Hydrocolloid Wound Dressing

【禁忌・禁止】

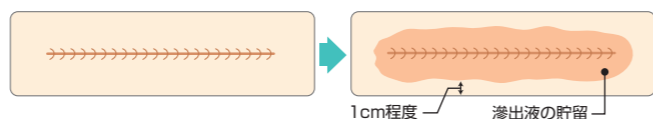
- 1.使用方法
再使用禁止
- 2.適用対象
 - 1)臨床的に感染が認められる創傷【感染を悪化させるおそれがある。】
 - 2)ケロイド形成の既往歴がある症例
 - 3)皮下組織、筋肉、腱、骨に達している開放創
 - 4)褥瘡、下腿潰瘍、熱傷潰瘍などの皮膚潰瘍【(2)～(4)への適用は安全性・有効性が確立されていないので本品の使用は避けること。】

使用上の注意

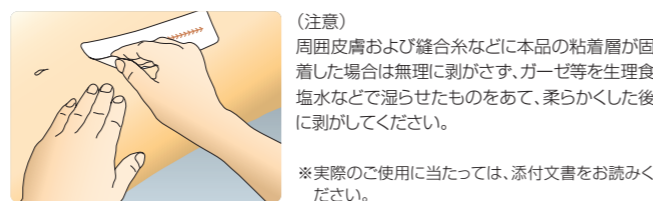
- 1.本品の使用中に、創に本品が原因と推察される臨床的感染が起きた場合には、使用を中止し、適切な治療を行ってください。また、手術部位の汚染状態や洗浄の程度、患者の全身状態の悪化や全身管理の不足等によっても創に感染症状が現れることがあります。創部の観察や検査および適切な全身管理を実施し、臨床的感染が認められた場合には、原則として使用を中止し、適切な治療を行ってください。
- 2.本品使用中に発赤、びらん、そう痒等の皮膚障害と思われる症状が現れた場合には、使用を中止し、適切な治療を行ってください。
- 3.創周囲に粘着剤による発赤や滲出液の貯留による浸軟を起こす場合があります。また、皮膚剥離を起こす場合もあるので、本品使用時には十分な観察を行ってください。なお、本品の関与が否定できない異常が見られた場合には直ちに使用を中止し、適切な治療を行ってください。
- 4.本品は縫合糸の代わりとなるものではないので注意してください。

使用方法

- 1.使用被覆材の選択
 - ・創部および創周囲の皮膚を十分に被覆できる大きさの被覆材を選択します。
- 2.貼付前処置
 - ・創部および創周囲の皮膚を必要に応じて消毒し、必要ならば生理食塩水で洗浄します。
 - ・創周囲の皮膚を清拭し、十分に乾燥させます。
- 3.貼付
 - ・粘着層の皮膚貼付面に手指などが直接触れないように注意しながら剥離紙を除去し、創が中央にくるように、創にしっかりと貼付します。
 - ・必要に応じて粘着テープなどの適当な手段で本品を固定します。
- 4.交換時期
 - ・貼付状況を観察し、滲出液の漏れ、周囲の剥がれなどが起きたとき、または起きそうなきときは、速やかに新しい本品と交換します。(滲出液が貯留した範囲が被覆材周辺から約1cm程度が交換の目安です。)



- 5.除去方法
 - ・本品の除去に際しては、周囲の皮膚を軽く押さえながら本品の四隅から、ゆっくりと注意深く剥がします。



カラヤヘッシブ・クリアータイプ Karayahesive

種類	商品コードNo.	サイズ	規格	基材	1函入数
C-2号	15185	5.0cm×5.0cm		ウレタンフィルム	30枚
C-3号	15181	7.5cm×5.0cm			10枚
C-6号	15182	15.0cm×5.0cm			10枚
C-9号	15183	22.5cm×5.0cm			10枚
C-12号	15184	30.0cm×5.0cm			10枚

EOG減菌済 STERILE ※ブラインドタイプもあります。管理医療機器/医療機器承認番号：21100BZZ00468000

固定用材料

デルマポア® Dermapore
透湿・防水粘着性伸縮包帯
伸縮性に優れた透湿・防水性の粘着テープで、辺縁部の固定に適しています。

種類	商品コードNo.	規格(幅×実長)	1函入数
3号	11951	2.5cm×10m	2巻
5号	11952	5.0cm×10m	1巻

※他に、7号、10号もあります。

マルチフィックス® ロール Multi Fix-Roll
透湿・防水性フィルムロール
フリーカットタイプの透湿・防水性フィルムで、被覆材などの全面固定が可能です。

種類	商品コードNo.	規格(幅×実長)	1函入数
7号	17822	7.5cm×10m	1巻

※他に、5号、10号、15号もあります。

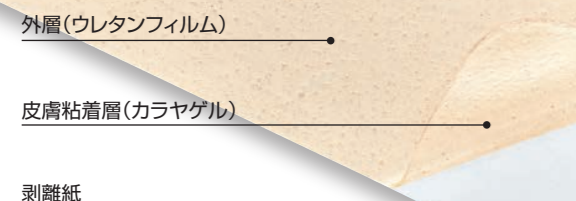
透明性と吸収能に優れた《カラヤヘッシブ・クリアタイプ》。処置を効率化し、急性創傷に適した治療環境を提供します。

《カラヤヘッシブ・クリアタイプ》は、Moist Wound Healingを治療原理とし、創傷治癒を促進するハイドロコロイド創傷被覆材です。

その優れた特徴である透明性や吸収能により、縫合創をはじめとする創傷の経過観察を容易にするほか、ガーゼ交換の手間や使用材料を削減し、創傷処置の効率化を実現します。



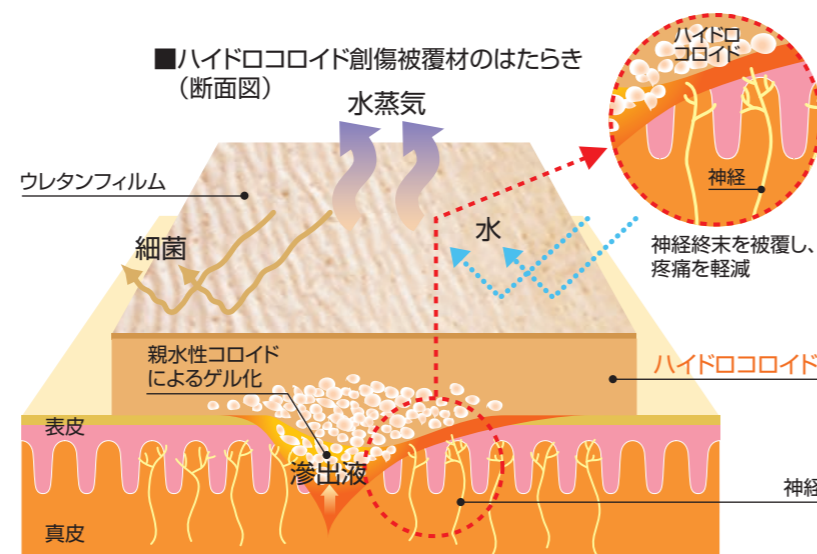
適用 急性創傷（縫合創、剥削創、外傷性皮膚欠損症）



創傷治癒に適した湿潤環境を維持

- 創傷中の滲出液により創面に柔らかい親水性コロイド(ゲル)を形成し、湿潤環境を維持して創傷治癒を促進します。
- 創部を被覆保護して外部からの刺激を緩和し、疼痛を軽減します。

創傷治癒を促進



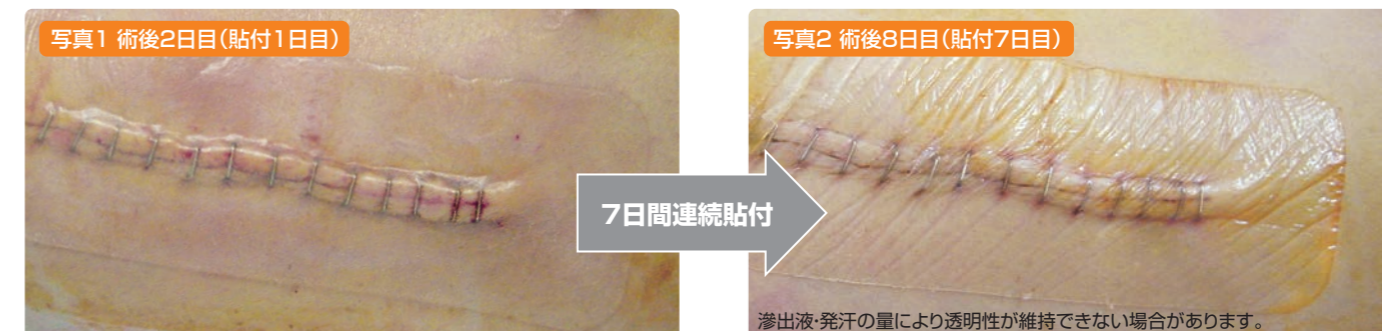
Moist Wound Healingとは、創傷を適度な湿潤環境に維持することで、創面に沿って上皮細胞が滲出液中をスムーズに移動し、乾燥環境下よりも治癒が促進されるとする、創傷治癒の理論です。

創傷の状態がクリアに見える透明性

経過観察が容易

- 貼付したまま創傷の経過観察が行えます。
- ガーゼ交換の手間や使用材料を削減するとともに、患者のストレスを軽減します。
- 滲出液が少なければ最大一週間の連続貼付が可能です。

■症例:食道癌術後の縫合創*1



適度な滲出液吸収能

皮膚浸軟を軽減

- 粘着層の吸水能力により、被覆材下に貯留した滲出液を吸収し、創周囲の浸軟化を軽減します。

■症例:急性虫垂術後の縫合創*2



優れた柔軟性と密着性

ずれ・違和感を軽減

- 創傷の凹凸に追従し、ずれや違和感を軽減します。
- 関節部位や可動部にもフィットします。
- 優れた皮膚密着性により、外部からの汚染を防ぎます。

■症例:変形性膝関節症に対する人工膝関節置換術後の縫合創*3



*1 写真提供 千葉大学医学部附属病院 食道胃腸外科 落合 武徳先生 *2 崎 裕一、小矢崎 直弘、大戸 司;術後創傷(縫合創)に対する薄型ハイドロコロイドドレッシング(KYD)の臨床効果、月刊臨床と研究 75(3).1998 *3 写真提供 取手北相馬保険医療センター医師会病院 整形外科 許 表楷先生